

政策総務常任委員会議会報告会について

1 日時 令和元年5月15日（水） 午後3時30分から5時30分まで

2 場所 福島工業高等専門学校 大会議室

3 参加者 いわき市議会政策総務常任委員会

委員長 山 守 章 二

副委員長 狩 野 光 昭

委員 田 頭 弘 毅

伊 藤 浩 之

小 野 潤 三

塩 田 美 枝 子

大 友 康 夫

蛭 田 克

檜 村 弘

福島工業高等専門学校生 20名

(ビジネスコミュニケーション学科、コミュニケーション情報学科、
都市システム工学科)

4 内容

(1) 第1部 議会報告会

いわき市議会2月定例会で審議した議案を市議会だよりにより説明

(2) 第2部 意見交換会（3班編成）

スポーツ振興によるまちづくりをテーマにワークショップ形式により実施

5 意見交換会で発表された意見

- ・いわきFCパークへのアクセスを良くするなど、いわきFCを地元のスポーツクラブとして育てるための支援を行う。
- ・スケートボードなどのマイナースポーツを体育の授業に導入し、市内で普及させることで、いわき市から有名選手を輩出する。
- ・フェスのような感じで音楽を流しながらランニングをするなど、若者や女性向けのイベントを開催する。
- ・誰もが気軽に体育施設を利用できるように、市内全体の体育施設の利用状

況を把握できるアプリを開発する。

- ・サーフィンなどのいわき市の地域特性を活かしたスポーツを市民皆が楽しめるような環境を整備する。
- ・中山間地域の体育館に医療やリハビリ等の施設を併設するなどして、近くに医療機関等がない中山間地域の方でも安心してスポーツができる環境を整備する。
- ・既にあるフラダンス甲子園やいわき F C の認知度向上に取り組み、市民の関心を高め、フラやサッカーの活性化を図る。
- ・ボルダリングの大規模大会の誘致や、“マラニック”（マラソンとピクニックを融合したスポーツ）の普及など、新しいスポーツの振興を図る。
- ・幅広い媒体（SNS、ポスター、チラシ等）を使ってスポーツイベントをPRするなど、情報発信を強化する。
- ・市内でパブリックビューイングを行う。
- ・湯本温泉とスポーツを組み合わせたイベントを開催する。
- ・市内で親子ウォーキングを開催し、あまり知られていない場所を親世代と子世代の両方に知ってもらうなど、世代に合わせたイベントを開催する。
- ・街コンとスポーツを組み合わせたイベントや、コスプレしながらのスポーツ大会など、一見かけ離れているものを組み合わせた新規性のあるイベントを開催する。
- ・競輪以外の他のスポーツでも競輪場を活用する。
- ・プロ野球公式戦を誘致する。
- ・スポーツに特化した中高一貫校や、新しいスポーツ施設をつくる。
- ・市内の大学でスポーツ研究を行う。
- ・市内で実施していても市民に知られていないことが多いため、イベント等の実行だけでなくPRに力を入れ、広く知ってもらう取組みを継続する。